

Multi Surveyor

今回紹介する、「マルチサベイヤー」は、臨床において模型の点・線・角度などの数値を正確に計測することができ設計することができる装置である。計測や設計ができることで精密な歯科技工の向上に役に立つと思われる。現行はノギスや定規での計測であったが精度に欠け使いにくいものであったと思う。また凹凸の多い模型に基準線を咬合平面や正中に設定し、正確な基準線を引くには必ずしも正確とはいえなかった。**従来のサベイヤーのすべての操作が可能で、アンダーカットゲージ・アンダーカット量計測・アンダーカット修正・咬合平面確認・義歯着脱方向確認・歯列の確認・着脱方向に基づいたサベイライン記入・アンダーカットのブロックアウト・平行性、垂直性を必要とする面の診断・正中線、歯槽頂線記入・自家製アタッチメント製作・コーヌス・ミリング・ガイドプレーン形成などが可能である。**

作業模型：咬合面から基底面の厚み計測

：歯列の診断（口蓋の深さ・歯列の長幅径・角度・左右のずれ・高径など）

矯正模型：平行模型・任意基準線（平行線記入・垂直線記入）・歯軸の角度計測・歯間距離計測・歯長計測・経年変化の計測・「術前、術中、術後の模型計測し数値化」

診断模型：歯軸の角度・歯間距離計測・咬合平面チェック・アンダーカット量計測
歯列計測・配列の診断

クラウンリッチ：分割復位式模型作成・テーパー確認・着脱方向確認・平衡確認・咬合平面確認 歯軸確認 カントアー確認

局部床義歯模型：咬合平面確認・義歯着脱方向確認・歯列の確認・歯牙、顎堤のアンダーカット計測・着脱方向記入・アンダーカットのブロックアウト・平行性、垂直性を必要とする面の診断・正中線、基準線記入・自家製アタッチメント製作・コーヌス・ミリング・ガイドプレーン形成

全部床義歯模型：基準線記入・顎堤のアンダーカット計測

旧義歯の情報(テンポラリーデンチャー)：咬合平面・歯軸の角度の計測・歯間距離計測・床の厚み・人工歯の高さ計測

咬合床製作：指定の高さで製作・模型より位置決定・設計線記入・前歯アーチ記入

磁性アタッチメント：キーパーの同一平面上の設置が簡単

ノンクラスプデンチャー設計：2種類のコノメーターを使用0°～30°まで計測可能

インプラント：植立ポイント・植立角度・平行確認・ステント角度計測

いろいろなアクセサリーを使うことで今まで不可能であった計測や設計が簡単に正確にできるようになった。模型を正確に診断・判断できる装置として技術の向上に役立つと思い製品化することになりました。近日 使用法の講習会予定しています。

